

## 災害ボランティア活動報告(No.43)

### 活動場所:宮城県亶理郡山元町作田山(被災農家:斎藤様の農地)

今回は、バス参加41名、現地参加の方4名、車で参加2名の総勢47名です。GWのためか参加者の方が多く、当日キャンセルがなかったら49名でした。

当日お子さんが急病になりご家族4名でご参加予定が、病気のお子さんとお母さんが不参加になった青木さんには2名の不参加分まで払って頂き申し訳なかったです。ですがキャンセル待ちの方々が4名入らしたのですが、当日のため連絡したのですが断られました。事情が事情のためキャンセル料払わなくても済めばと思ったのですが、なかなか上手くいかないですね。

【第20回:GW親子で震災ボランティア】には、愛媛から親子で参加して下さった濱崎さん親子やベトナム人のタティエンキムさん、台湾人の陳秋儒さんなど多くの方々に参加して頂きました。感謝です。

**活動内容:**今回は全員で、籾殻の袋詰めでした。ボラバスでの案内はパプリカ農園の農作業支援と言うことでしたが、パプリカは種から10cm程の苗木の育った所で、お手伝いのタイミングではないので籾殻の袋詰めを行いました。

斎藤さんの昨年収穫のお米の籾殻の袋詰めです。籾殻は堆肥として再利用されます。斎藤さんは自分の田圃が津波で駄目になり、知り合いの方から田圃を借りて米作りをされているので、昨今の米価の低迷は大打撃だと思います。農家は大変です。

**参加者:**メンバー(木下史典、広瀬義積、榎戸孝行、溝手文子、本田健)、一般参加、ネット参加のバス41名。現地参加の方4名、車での参加2名、合計47名。



※集合写真:今回参加して下さった皆さんです。(作業現場にて斎藤さんご夫妻と。)

**活動報告：『親子で震災ボランティア体験』 in 宮城県山元町 、ボランティアバス第20弾**  
です。被災農家齋藤さんにご縁がありお伺いしてから、今回で16回目です。5月1日(金)  
夜～5月2日(土)夜まで。車中一泊の弾丸ボランティアです。



※左の写真が作業場です。機械がある建物と粃殻置き場。右の写真が建物内の機械・乾燥機、脱穀機、計量袋詰め機ですが、全て津波で流された後に、行政から10年フリーリースされているものとのことで、10年後に買い取るか返却するか決めなければなりません。再建が出来て安定的な収入が得られれば、買い取りできるでしょうが、駄目なら返却です。農業を是非とも継続してほしいです。

作業場までは、海岸から2km以上有るので津波が来ていないと思いましたが、作業場前の田圃は、津波の塩害で使えなくなった後、カリウムを撒いて中和させ、漸く出荷が出来るようになったばかりなので、ボランティアでのお手伝いがまだまだかけがいの無いものであることを実感しました。

齋藤さんの知り合いの方も来ていて、お話を伺ったのですが。作業場奥の小高くなっている小山の高さまで津波が来たそうです。この近くに実家があり、ご両親が他界されました。一緒にいた近所の高校生の話だと、ここまでは津波は来ないので心配しないでと話しておられたそうです。三陸の時もこちらまでは津波が来なかったもので、そう思われたのでしょう。津波が来た際、逃げられなかったそうです。経験が判断を鈍らせてしまったようです。



※左写真：粃殻置き場、全員で袋詰め。右写真：椎茸の菌を付けた木の棒を置き場に持つ

て行く。



※左写真：先ほどの木の棒置き場、日陰で黒いネットをかけて椎茸を育てます。右写真：47名で半日作業をして粃殻の袋が山積みになりましたが、全部は片づけられませんでした。農家の方は重労働ですね。これを夫婦で片づけたら1ヶ月はかかります。

子供たちにも、貴重な経験ではないでしょうか。農家の方々がいかに苦勞して農作物を育てているのか、食べ物を残したり無駄に出来ないね、と話す『うん』と皆うなずきます。なぜか、それだけでもボラバスをやっている意義を感じました。

被災農家の斎藤さんは、ボランティアに本当に感謝して下さい。いつも出来る限りのことをして下さいます。

今回も、参加してくれた子供たちを喜ばそうと、竹の子狩りに連れて行ってくれました。最初の集合写真に、子供たちが採れたての竹の子を持ち上げて写っています。本当に大きな竹の子で喜んでいました。東京で買った千円以上の物を振る舞ってくれます。逆に申し訳なく思ってしまう。ですが、子供たちにとって良い経験ではないでしょうか。良い思い出にもなっています。

そればかりか、10月10日以降に、また収穫祭を行いたいとお話しになりました。昨年、旬のサンマの塩焼きや焼き肉、取れたての野菜やお米を使ったお握りなど振る舞ってくれました。感謝の気持ちで旬の美味しい時期に、いっぱい食べてもらおうと思われてのことです。

昨年はボランティアの後、学生の方が『もうボランティアは必要ないのでは。』と話していたのこともスタッフから聞きました。

斎藤さんの心ばかりのお礼が、その日だけの参加だと真逆にとられてしまいます。今度、収穫祭に参加して頂ける方は、年に一回の収穫祭で斎藤さんから取れたての旬の野菜や魚を振る舞って貰っているとご理解下さい。

大勢の方々に、収穫祭も来て頂きたいと思います。あくまでもボランティアだと言う方は、夏休みに2泊3日でボランティアを行いますので、そこにご参加下さい。宜しく願いいたします。

以上